

令和4年9月12日

原子力施設立地・隣接道府県
原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 殿

広島大学放射線災害医療総合支援センター長
神谷 研二
(公印省略)

令和4年度 「甲状腺簡易測定研修（広島大学 第1回）」について

日頃より高度被ばく医療支援センター業務にご協力いただきありがとうございます。

原子力規制委員会から基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、長崎大学、広島大学の5機関は、令和3年度から分担して「甲状腺簡易測定研修」を開催しています。

本研修は、甲状腺簡易測定を担う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として開催するもので受講対象としては、原子力災害時に甲状腺測定を担当される方及びその可能性のある方が中心に受講いただくこととなります。

広島大学では、今年度5回の開催を計画しており、今回は第1回令和4年10月27日(木)のご案内です。

貴機関より、本研修受講対象者をご推薦の上、被ばく医療研修ポータルサイトからお申込みいただきますようお願いいたします。

なお、本学以外で開催されます研修につきましては、それぞれの開催機関から案内・募集要項が別途発出されますので、ご承知おきください。

研修の実施においては新型コロナウイルス感染症対策専門家会議で提言された「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大防止対策及び衛生環境整備に努めてまいります。また、感染症拡大の状況により研修の中止または中断があることもご理解のほどお願いいたします。

広島大学 放射線災害医療総合支援センター 事務局
TEL : 082-257-5411 FAX : 082-257-5403
e-mail : iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp
iryo-hibaku@office.hiroshima-u.ac.jp